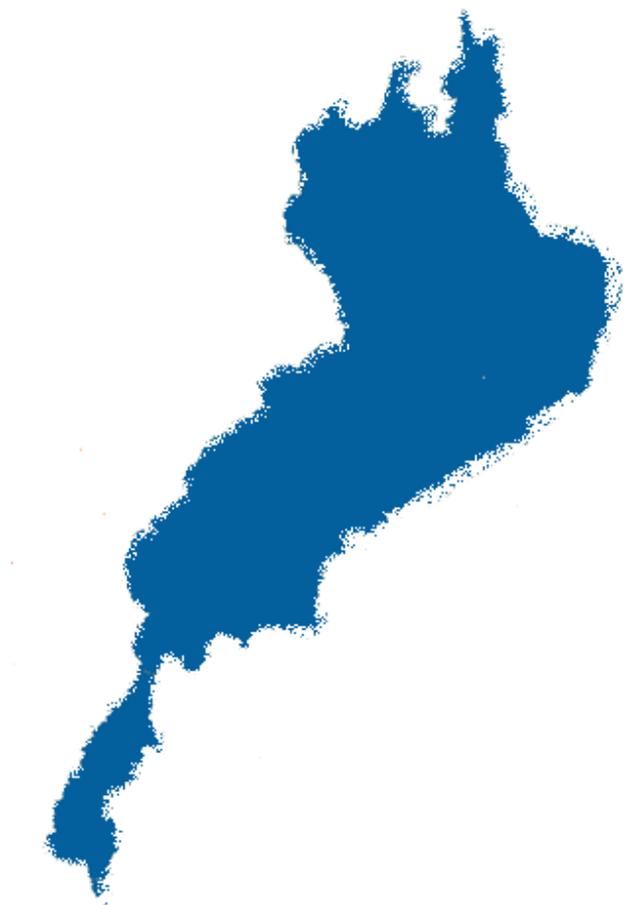


# 交 流 Vo1. 32



# 目次

1. 留学生の声	2
かけがえのない時間	2
病気と闘い続けた研究活動	3
私のアクティブな留学生活	4
留学生として日本での生活体験	5
海外留学で得た経験	6
滋賀県での思い出	7
日本でびっくりしたこと	8
2. 交流事業の紹介	9
滋賀県立大学	9
滋賀医科大学	10
長浜バイオ大学	11
龍谷大学	12
聖泉大学	13
2017年度滋賀県内の留学生関連国際交流事業一覧	14
3. 県内大学、短期大学の留学生受入状況（平成29年5月1日）	16
(1) 留学生数の推移	16
(2) 在籍身分別留学生数	16
(3) 出身国（地域）別留学生数	17

※本誌記事における留学生の情報（所属機関・学年等）は2017年度時点のものです。

## かけがえのない時間

滋賀大学  
経済学部企業経営学科 1年生  
呉 孫宏(ウー ソンホン)さん

皆さん、こんにちは

滋賀大学経済学部にて在籍している台湾出身の呉 孫宏（ウー ソンホン）と申します。

あっという間に、日本に来てから一年が過ぎ去りました。日本語学校に通わず滋賀大学に入学したので、大変な一年でした。しかし、それと同時に充実した一年間でした。

日本で出会った友人の一人が私に宏（ひろし）という愛称を付けてくれました。このように、日本人にとって読みやすい名前が付けられたことで、友達とのコミュニケーションをさらに促してくれたと思います。

そして、留学生生活を充実させることができる要因の一つに、部活に所属することが挙げられます。現在、私は滋賀大学のオーケストラ部に所属しています。オーケストラ活に入部したことで、大学の生活が大きく変わったと感じています。部活で、私は数多くの人と友達になりました。違う考え方を持つ人と出会ったことで、私にも大きな影響を与えました。また、部活という居場所と始めたばかりのトランペットを上達しようとする目的を持つことで、成長していることを実感します。演奏会に向けて部員たちと一緒に楽器を練習して、部活の後に、たわいないことを話しながら1日を過ごします。このような平凡な日々を、幸せと感じています。

さらに、大学の先生が優しく教えてくれたお陰で、初めての日本語授業は凄くワクワクするものでした。また、職員たちも親切に接してくれました。こうして多くの人々の支えがあるからこそ、心地の良い大学生活を過ごせると思います。ここでの4年間はきっと私にとってかけがえのない時間になると思います。これからも滋賀大学で学んだ経験を生かして、日本と台湾の架け橋として、貢献できるように、頑張っていきたいと強く思います。



## 病気と闘い続けた研究活動



滋賀県立大学人間文化学研究所修士2年  
ALCARAS GIORGIO アルカラス・ジョルジオ

私は民俗学を専攻し、近世から現代にかけて狐が登場する話の変容と狐に対するステレオタイプのイメージの修正を図り、狐の性格の再検討をすることを研究テーマにしました。

2017年の正月、バイトから帰り、研究のために近世随筆の分析を続けるつもりでしたが、お腹の痛みが強く、寝るしかありませんでした。一年前に潰瘍を患ったことがあり、全く同じ感覚でしたので、今回はひどくなる前に専門医に診てもらいました。

しばらくは普通の食事を食べ、研究を進めながらバイトで生活しましたが、また激しい腹痛に襲われ、緊急入院することになりました。病名は、難病のクローン病。それから治療を受け続け、数ヶ月ごとに検査を繰り返したら卒業まで過ごせるのではないかと思いましたが、その後、二度も緊急入院をし、夏にはもう手術を受けざるを得ない状況になりました。

検査入院中も日本民俗学会に発表できるための準備で頭が一杯で、研究を十分に進めましたが、手術を受けることを考えたら家族のいるイタリアへ帰国することが理想的でした。しかし、帰国して手術を受けている間は、治療に長い日数を要するので、卒業ができなくなることが確実でした。それ故、家族に相談し、研究を続けるために日本で手術を受けることにしました。

その時は家族が傍にいませんでしたが、教授と国際化推進室の皆様のサポートのおかげで、一人ではありませんでした。手術の後に論文を書き続け、退院してから学会で発表できたのは素晴らしい経験でした。また、現代の伝承の分析成果を出すために一生懸命頑張りました。研究を開始して一年間が経った2018年の1月に、研究を完成させ、修士論文を無事に提出することができました。

もし手術をイタリアで受けていたら、大学院と研究をあきらめていたでしょうし、そうすれば一生の後悔になっていたことを思うと、あきらめなくてよかったです。

## 私のアクティブな留学生活

聖泉大学 人間学部 人間心理学科 4 回生  
叶 惠靖(よう けいせい)

2016 年 10 月、私は日本に留学しました。

留学して 1 ヶ月後、私は長浜の老舗旅館「紅鮎」にインターンシップで行きました。日中文化の違いや日本人のおもてなしの心を学び、とても有意義な経験をしました。またゼミでは「彦根映画シリーズ観光マップ」を作るために、滋賀県のいろいろなところに行き、観光資源などの情報収集を行いました。また最近、映画「ちはやふる」を滋賀映画祭に上映するための前宣伝として数々のイベントも行っています。

昨年春休みには、JCMU の国内留学に参加し英語の勉強をしました。アメリカ人や日本人の友達も多くできました。この合宿で、グローバル化が進んでいる現代社会では、ますます英語が不可欠なものになると強く感じました。

2017 年の夏休み前に、ゼミの先生が夏休みには沖縄に調査に行くことを知り、私もその一員になりました。調査はサーフィンとダイビングのショップ経営者のマーケティング戦略についての聞き取り調査と、旅行者に対してマリンツーリズムでのインストラクターについての意識調査でした。座間味島ではマリンスポーツなどを体験し、良い思い出になりました。この時の調査に基づき、先生の指導を受けながら「沖縄マリンスポーツインストラクター」という研究報告を完成しました。

また「Ai-SPEC2017」(学生と中小企業との相互理解を深めるプロジェクト)に参加し、ゼミの仲間と予選に参加しました。結果は予選敗退で、正直悔しかったが良い経験になりました。11 月には琵琶湖の沖島で地域活性化イベントのため、ゼミの仲間と協力し、「沖島落語会」を開催しました。

この 1 年半いろいろなところに行き、印象に残る多くの経験をしました。日本語も相当上達したと思います。また日本文化に深く関わったことはこの 1 年半の大きな収穫だと思います。これからも、日本をもっとよく知りたいと思っており、さらに有意義な留学生生活を過ごしていこうと思います。



写真の右から 2 人目が叶さん



## 留学生として日本での生活体験



長浜バイオ大学博士課程前期課程 2 回生  
李 貫順

日本に来てあっという間に7年が過ぎました。来日して京都の YMCA 日本語学校に毎日電車で通い、その後長浜バイオ大学に入学しました。学部・大学院の大学生活を経て、今年4月から社会人になります。そこで日本の生活体験の中で気付いたことを述べてみたいと思います。

一つ目は、日本人のマナーのいいところやお客さんを大切にする姿勢に感心したことです。就職活動を始めた頃、京都の伊勢丹の腕時計売り場に行った時の話です。少し尋ねただけでしたが、店員さんが性能や用途や手入れなどを丁寧に説明してくれました。また、スーツの専門店はるやまで、試着した時や店から出る時、ぬくもりのこもったサービスに心が温まりました。この二つは本当に生活のごく一部に過ぎないですが、心に残っています。

二つ目は、「さん」、「くん」、「ちゃん」、「きみ」、「あなた」についてです。今では使い分けの区別はつきませんが、言葉に潜んでいる意味は理解できていません。身近な例で、先生は普通に私たちのことを「くん」づけしていますが、なぜ先輩あるいは後輩の女の子には「さん」づけするのだろうか。女性に対して少し丁寧な言い方をしているのはわかりますが、やはり言葉のニュアンスの違いは日本語を母国語として使わない者にとっては掴みにくいと思いました。

三つ目は、この異国に来て驚いたことです。それは、ほとんどの日本の若者は仕事について結婚したら二人きりの暮らしが多く親から離れてしまうように見えること、それから、おじいさんやおばあさんの晩年生活は意外とバラエティに富んでいることです。中国のように孫ができれば、家族全員がその子に集中するような光景があまり見られません。おそらく日本は西欧の影響で個人の独立意識が強いのだろうと思いました。

この7年間を通して楽しいことや大変なことがいろいろありましたが、いい仲間との出会い、多くの人からの支えと恵まれた環境があったからこそ、ゆとりのある生活ができました。また、人生観や価値観がかなり変わりました。これから社会に出て、もっと成長できるように努力しようと思っています。

## 海外留学で得た経験

びわこ成蹊スポーツ大学  
荘 思恩(ソウ スー ウン)

私は、小さい頃から日本のアニメや漫画を見ていたことや台湾において大学2年生時に日本のびわこ成蹊スポーツ大学との国際交流活動（台湾でのダイビング実習）に参加して、日本のびわこ成蹊スポーツ大学への交換留学の機会があることを知り、日本に留学しようと決めました。

最初、日本に来たばかりの頃は日本語があまり話せず、毎日の大学の授業や学外の日本語教室に通い日本語を勉強しました。1年後から、日本語が少し話せるようになりましたが、日本語で行う授業はまだ難しいと感じています。しかし、同じ大学に通っている台湾出身の大学院生の先輩のおかげで、他の大学院生たちが日本語の指導をしてくれたので、日本語がすこし上達しました。また、留学生として日本語を勉強するだけでなく、部活動への参加も大切だと思います。部活動の練習に参加することにより友達ができ、日本語の教科書で学ぶことができない言葉を教えてくれました。授業のグループでも友達ができるようになり、日本語や日本の文化など勉強することができました。

毎日、大学院生の研究室に行って日本語や日本の文化を教えてもらい、大学院生のみんなの協力にはとても感謝しています。

海外留学の理由、留学中の生活体験やストーリーなどは個人個人で異なるので、海外留学で得た経験はとても大切になります。将来にいろいろな挑戦や問題が起こった時、海外留学での経験は役に立つと思います。



大学院生との1枚



2017年度国際交流事業  
台東大学マリンスポーツ研修にて

## 滋賀県での思い出

立命館大学大学院  
理工学研究科機械システム専攻  
博士前期課程1回生  
ヌル アミナ ビンティ モハマド カイリ

私は子供のころから海外に留学する夢があった。マレーシアでは、四季がないので、雪はどんな感じが知りたかった。お母さんが、「雪が知りたいなら、ちゃんと勉強していい成績をもらって海外に留学すると、雪が見られるよ。」と私に言った。2015年3月に、日本に留学することになった。4月に滋賀県で美しい桜をみながら、新しい生活を始めた。12月に雪も初めて見た。それは、“初雪”だった。

私は立命館大学工学部機械システム専攻の学部3回生として授業を受けはじめた。授業が全て日本語で行われていて、最初の1年間は大変だった。それでも、徐々に友達ができ始め、日本語にもだんだん慣れてきた。さらに、日本では留学生のサポートが充実している。2016年に、WFWP女性留学生日本語弁論大会に参加して、WFWPのメンバーと交流会をし、ときどき食事を共にした。だから、家族と離れても寂しくならなかった。大学主催の国際イベントにも多く参加し、日本の文化体験をした。例えば、そばとすしの作り方の体験があった。これらのイベントを通じて日本文化の素晴らしさを学ぶことができた。

立命館大学は滋賀県の草津市にあり、草津は東京のような都会ではなくても、便利なところだ。京都や大阪と近く、静かで住みやすい。また、買い物やレジャー施設もある。時々、気分をリラックスさせたいときに、自転車で琵琶湖の周りに行き、風、湖の音が聞いたら、すごく落ち着く。

滋賀県で過ごすことのできる期間は残り後1年間だ。滋賀県にある美しい琵琶湖からは素晴らしい景色が見られ、他では見ることのできないものだ。なので、今年の琵琶湖花火大会を楽しみたい！



## 日本でびっくりしたこと



滋賀文教短期大学  
国文学科 1 年  
Pantachai Ajcharaporn  
(パンタチャイ アチャラポーン)

私はタイからの留学生で滋賀文教短期大学にかよっています。国文学科 1 年生です。  
1 年前に初めて日本へ来ました。  
日本の冬がほんとうに寒いです。タイは寒くないですが、毎日とても暑いです。

今回は日本でびっくりしたことをお伝えします。

日本へ来てびっくりしたことは、タバコやタオルやアイスクリームなど、たくさんの種類の自動販売機があることです。

タイにはジュースとカップラーメンの自動販売機だけがあります。

タバコはタイでは 18 さいから買えます。お店の人が顔を見て、としを確認してタバコを買います。でも日本は自動販売機でかんたんにタバコを買えます。未成年も買ってしまうかもしれません。それはよくないことです。

でもいいこともあります。それはタオルの自動販売機です。空港にあります。私は 200 円で買いました。べんりです。大学の近くにあるディスカウントストアにはアイスクリームの自動販売機があります。おいしかったです。

タイには個人のお店がたくさんあります。朝から夜まであいています。だからタイには自動販売機がすくないと思います。

日本にはいろんなあいさつがあります。

「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」が一番使います。このあいさつは、時間で変わるのでむずかしいです。タイはずっと同じあいさつを使います。

私の日本語はまだ上手になりません。日本人ともっと話したいと思います。

# 交流事業の紹介

## 滋賀県立大学

- 事業：留学生研修旅行（バス旅行）
- 日時：2017年10月7日（土）
- 場所：京都嵐山 京都伝統産業ふれあい館（友禅染体験）
- 参加者：本学に在籍する外国人留学生及び日本人学生計 37 名 引率職員 3 名
- 概要：

外国人留学生が日本の文化等を知る機会として、毎年見学旅行を実施しています。今年は、京都嵯峨嵐山と京都伝統産業ふれあい館を研修先としました。

嵯峨嵐山では渡月橋から竹林、野々宮神社など、京都の自然の美しさや古い歴史を感じながら散策をしました。

午後からは京都伝統産業ふれあい館に移動し、友禅染めの体験を行いました。各々自分の好きなデザインを選び、布製のトートバッグに染色しました。染料の分量調整が難しいようでしたがすぐに慣れ、個性豊かなバッグを作ることができ、学生たちは大満足な様子でした。

日本人学生も参加するこのイベントは毎年日本人学生と留学生が交流を深める場としても大変良い機会となっています。



# 交流事業の紹介

## 滋賀医科大学

- 事業：留学生バス旅行
- 日時：2017年12月1日（金）、2日（土）
- 場所：淡路島・徳島県方面
- 参加者：本学在籍の外国人留学生およびその家族 計16名
- 概要：

2017年12月1日（金）、2日（土）の両日、淡路島・徳島県方面へ留学生等のバス旅行を実施しました。当日は留学生の家族も含め総勢16名が参加しました。

初日は、淡路島にある北淡震災記念公園を訪れ、阪神淡路大震災を引き起こした断層を見学しました。地震発生の仕組みや被害の様子を学ぶとともに、震災体験館では、阪神大震災と東日本大震災それぞれの揺れを体験しました。昼食後は、大塚国際美術館に移動し、陶板で再現された一千点を超える西洋美術の傑作を鑑賞しました。滋賀県甲賀市信楽町で製作された原寸大の作品の迫力に、参加者全員が圧倒されました。ホテルでは、瀬戸内海の海の幸を堪能し、阿波踊りの実演でも大いに盛り上がりました。

2日目は、徳島県立阿波十郎兵衛屋敷で、数百年にわたる人形浄瑠璃の歴史や人形の動かし方を教わり、定期公演を見学しました。伝統芸能を支える人々の真剣さと熱意に、皆が感動しました。

今回のバス旅行では、日本の文化や地理について学び、瀬戸内の美しい景色とおいしい食事を楽しむことができ、大変有意義な二日間となりました。



# 交流事業の紹介

## 長浜バイオ大学

- 事業：「ブルーメの丘でソーセージ作り体験&バーベキュー」
- 日時：2017年11月23日（木）
- 場所：滋賀農業公園ブルーメの丘
- 参加者：留学生 17名、日本人学生 4名 計 21名
- 概要：

事前に参加希望の留学生から行き先の希望をアンケート調査し、今年度は滋賀農業公園ブルーメの丘に決定。行きのバスの中では留学生が考案したレクリエーションを行い、ブルーメの丘ではソーセージ作り体験とバーベキューを行ないました。



# 交流事業の紹介

## 龍谷大学

- 事業：English Evening (イングリッシュ・イブニング)
- 日時：2017年5月11日、6月15日、7月6日、10月26日、11月30日、  
12月14日、12月21日、1月11日 の 15:45～17:45
- 場所：龍谷大学瀬田キャンパス 智光館2階グローバル commons
- 参加者：交換留学生、瀬田キャンパスの日本人学生
- 概要：

龍谷大学瀬田キャンパスでは、グローバル教育推進センターに隣接したエリアを中心として、様々な国の留学生と日本人学生が集うグローバル commons と呼ばれるマルチカルチャー、マルチリンガルな学びの空間を提供しています。

このスペースを活用し、瀬田キャンパスの学生に多くの国際交流の機会を与えることを目的に、国際交流イベント「English Evening」を開催しました。

このイベントは、交換留学生と日本人等学生が交流し、英会話を楽しむというもので、今回は、アメリカ、イギリス、オーストラリア、カナダ、ドイツ、ベルギー、ロシア出身の交換留学生 10 名が協力。前期に 3 回、後期に 5 回開催し、のべ 29 名ほどの日本人等学生が参加してくれました。

瀬田キャンパスの日本人学生の参加者はとても熱心な学生が多く、英会話を楽しむリピーターも多くいます。また、これをきっかけに海外留学にチャレンジする学生や、留学後に英語力を維持したいという学生も参加しています。

会話を通じ、留学生と日本人学生が、各々の国の状況や文化の違いや考え方の違いなどを語り合うことで、異文化に対する理解を深める機会ともなっています。English Evening は今後も継続していく予定です。



# 交流事業の紹介

## 聖泉大学

- 事業：彦根ばやし総おどり大会参加
- 日時：2017年8月10日（木）
- 場所：彦根市内商店街
- 参加者：留学生・日本人学生・教職員
- 概要：  
新作民謡「彦根ばやし」に合わせて市内商店街を踊り練り歩きました。



# 交流事業の紹介

## 2017年度滋賀県内の留学生関連国際交流事業一覧 1/2

日時	団体名	交流事業内容	場所	対象者・参加者	活動内容
2017年4月17日	滋賀経済産業協会	企業と留学生の交流会	関経連会議室	企業11社と留学生27名	「日本企業で外国人材が活躍するためのポイント～異文化理解から始める最適な職場環境の整備」をテーマに、留学生と企業担当者との間で交流を行った。
2017年5月13日	独立行政法人日本学生支援機構	兵庫国際交流会館交流研究発表会	兵庫国際交流会館	兵庫国際交流会館入居者及び一般	兵庫国際交流会館に入居する世界各国・地域からの優秀な外国人留学生等が、大学や研究機関等で研究している内容を紹介することにより、入居者間のみならず、参加者同士の知的ネットワークの形成と研究交流を促進することを目的に実施。
2017年5月27日	立命館大学	新入生歓迎企画～春レクリエーション	北野天満宮、平野神社	留学生、日本人学生20名	国際交流を通して大学生活をより有意義にするため、留学生支援団体(TISA)が毎年春レクリエーションを企画している。今年は新入留学生に日本文化の代表格である京都を観光することでより親しみをもち、より密な交流を図ってもらう目的としている。
2017年6月3日	独立行政法人日本学生支援機構	兵庫国際交流会館国際祭	兵庫国際交流会館	兵庫国際交流会館入居者及び一般	兵庫国際交流会館に入居する各国・地域からの外国人留学生や近隣の方々、大学関係者等を対象に、日本の様々な分野で活躍する有識者や専門家等を講師として招き、その貴重な知識や意見を聞くとともに、併せて、意見を交換する機会を設けることにより、留学先である我が国の様々な面への理解をより深める機会を提供することを目的に実施。
2017年6月24日	独立行政法人日本学生支援機構	国費外国人留学生歓迎会 2017 in 兵庫	兵庫国際交流会館	国費外国人留学生、日本人留学経験者、大学等関係者	渡日間もない国費外国人留学生を主な対象として、文部科学省と機構の共催事業として行い、留学生生活に必要な情報収集や、日本文化体験、留学生同士及び日本人留学生等とのネットワーク形成の機会を提供することを目的に実施。
2017年6月29日～7月15日	滋賀県教育委員会	滋賀県高校生海外相互派遣事業	各高等学校	ミンガン州の高校生15名、引率者2名	教育長表敬訪問、比叡山延暦寺見学、琵琶湖博物館見学、マリンスポーツ体験を行った。各高等学校での研修(授業、学校行事等)に参加、ホームステイを実施した。
2017年7月1日	草津市(まちづくり協働課)	留学生と行くバスツアー	留学生、地域住民	一般市民、留学生 計40名	豊郷町にある旧豊郷小学校校舎の見学や小学校の相模大木を見るなどして、日本文化に触れて、異文化交流を体験した。
2017年7月1日	立命館大学	国際交流企画BBQパーティー	立命館大学びわこくさつキャンパス	留学生、日本人学生、教職員、地域住民 176名	留学生と日本人学生および地域住民等との交流を図る目的とし、毎年を実施している。
2017年7月8日	草津市国際交流協会(KIFA) 立命館大学	日本人学生・留学生・草津市民交流イベント～七夕まつり	立命館大学びわこくさつキャンパス	立命館大学に在学する日本人学生及び留学生、草津市に在住している方、KIFA関係者 約60名	留学生支援団体TISA(BKC)と草津市国際交流協会KIFAが、留学生、外国人住民にとって、普段できない浴衣着付け体験を通じて、相互に交流を深める。
2017年7月11日	滋賀大学	学長と留学生との交流会	滋賀大学彦根キャンパス	学長、留学生、教職員、大津市、彦根市関係者、VOICE	毎年1回彦根と大津キャンパスで交互に開催されているもので、両キャンパスの留学生、指導員等関係者の他、滋賀県、大津市、彦根市の関係者があつまり、交流を行う。留学生が披露する歌やダンス、楽器の演奏等パフォーマンスを楽しみながら、留学生同士、また教職員との交流ができた。
2017年8月10日	聖泉大学	彦根ばやし総おどり大会	彦根市内商店街	留学生・日本人学生・教職員	新作民謡「彦根ばやし」に合わせて市内商店街を練り歩き。
2017年8月10日	大津市国際親善協会	ボランティアアクティビティデー	大津市国際親善協会交流サロン	留学生、一般	国際交流及び勉強を目的として来日されている外国人留学生(キルギス出身)が、一般の方に母国(自国)の紹介をする。キルギス出身の文化や習慣の違い等について紹介してもらった。
2017年8月～2018年5月	東近江市	北ミシガン大学姉妹都市奨学生派遣	アメリカ合衆国ミシガン州マーケット市	選考試験で決定した市民1人	1979年から姉妹都市である北ミシガン大学に「姉妹都市奨学生」派遣している。奨学生には両市の友好を深める親善大使としての役割も担う事としている。
2017年8月28日	滋賀経済産業協会	グローバル人材活用セミナー	関経連会議室	大学関係者、留学生計43名	「アジア各国の日本語教育の現状と日本企業への就職に関して」についてディスカッションを行った。大学関係者から「各国の大学関係者や学生の生の声を聞いて参考になった」等の感想を寄せられた。
2017年9月6日	滋賀大学	留学生見学旅行	奈良方面	留学生、教職員30名	両キャンパスの留学生約30名が参加し、バスで奈良へ日帰り研修を行った。奈良では東大寺の大仏殿参拝と奈良公園の散策を行い、その後「三輪そらめ山山本」でそらめ山延ばし体験を行った。
2017年9月8日	滋賀県中小企業団体中央会	「中小企業振興のための経営強化・金融支援」	コラボ滋賀21	アフリカ地域の中小企業振興にかかわる行政・金融等担当者	「中小企業団体中央会」の組織についての説明を通じ、組織の連携による地域中小企業振興の考え方について説明した。
2017年9月30日	大津市国際親善協会	外国人に伝えよう！日本と大津の魅力 ～大津祭曳山展示館で学ぶ大津祭の楽しみ方	大津祭曳山展示館	一般、留学生	大津、日本の魅力をより深く理解し、外国人に伝えられるようにする。大津祭の歴史、大津祭当日の見どころについて案内する。
2016年10月2日	滋賀県立大学	留学生研修旅行(バス旅行)	京都嵐山 友禅染体験	留学生と日本人学生(37名)引率職員(3名)	異文化交流を目的として、毎年実施している。今年度は嵯峨嵐山で京都の自然の美しさや歴史を感じながら散策したあと、友禅染を体験した。
2017年10月27日	立命館大学	異文化交流企画～ハロウィン衣装パーティー	立命館大学びわこくさつキャンパス	立命館大学に在学する日本人学生及び留学生30名	ハロウィン衣装パーティーは、仲間との絆が深まるレクリエーションを取り入れ、留学生と日本人学生との交流ができるようなゲームなど開催し、盛り上げた。
2017年11月2日～15日	滋賀大学	国際理解スタディー・ツアー	滋賀大学教育学部	チェンマイ・ラジャバット大学学生、教職員、滋賀大学 学生	滋賀大学の協定校である、タイのチェンマイ・ラジャバット大学の学生7名、教員1名が、スタディー・ツアーで本校を訪れ、日本語やびわ湖調査実習の授業をはじめ、茶道体験、工場見学、寺院訪問などを通して日本文化を体験・学習した。教育学部の国際理解教育コースの学生達との手作り夕食会も催し、教育学部教職員・学生と交流を深めた。
2017年11月12日	草津市(まちづくり協働課)	多文化共生イベント「世界と出会う交流広場」	栗東さきり前イベント広場	一般市民、留学生	草津、栗東、守山の各国際交流協会とNPO滋賀ものづくりネットの共催イベントで、交通安全ブースや木工教室等の主催やステージショーに参加した。
2017年11月18日	(公財)びわこビジターズビューロー	県内留学生による滋賀観光SNS発信事業	近江八幡市内と水郷めぐり	留学生	県内の観光地を訪れてSNSで記事を書いて情報発信をしてもらう。日本の歴史遺産、八幡市の自然景観と八幡堀の水郷回りを散策した。
2017年11月19日	立命館大学	国際交流バスツアー	福井県小浜市	立命館大学に在学する日本人学生及び留学生90名	日本の食文化、食を通じたまちづくりについて理解を深めてもらうため、今年は福井県小浜市を訪ねる。著作体験を通じて、参加者同士の交流を深めた。
2017年11月18日～19日	聖泉大学	万聖祭(学園祭)模擬店参加	聖泉大学	留学生	学園祭で中国の水餃子、煮卵を販売する。
2017年11月22日	滋賀大学	学部長と留学生との交流会	滋賀大学彦根キャンパス	学部長、留学生、日本人学生、教職員 85名	留学生手製の母国料理と多彩なパフォーマンスで大変盛り上がった。パフォーマンスでは母国の歌や民族衣装でのダンスを披露する学生、琴を披露してくれる学生もいた。
2017年11月23日	長浜バイオ大学	ブルーメの丘でソーセージ作り体験&バーベキュー	滋賀農業公園ブルーメの丘	留学生17名、日本人学生4名	留学生が考案したレクリエーションを行い、ブルーメの丘ではソーセージ作り体験とバーベキューを行いました。

# 交流事業の紹介

## 2017年度滋賀県内の留学生関連国際交流事業一覧 2/2

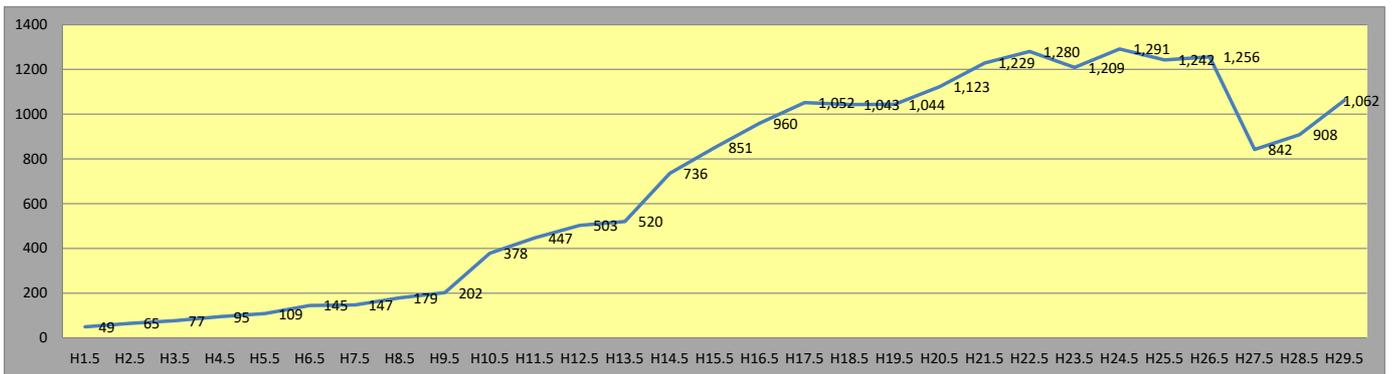
日時	団体名	交流事業内容	場所	対象者・参加者	活動内容
2017年11月19日	大津市国際親善協会	留学生とバスで巡る大津・宇治 秋の日帰りツアー	石山寺、水のめくみ館アクリア琵琶、平等院	一般、在住外国人、留学生	地域住民と留学生とともに歴史的、文化的に興味深い場所を巡る。特に、水やお金など生活に身近なものに関係する場所も関連した場所をグループ毎に行動をとり留学生、地域住民、在住外国人がともに行動をとりながら、異文化交流を図る。
2017年12月1日～2日	滋賀医科大学	留学生バス旅行	淡路島・徳島県	外国人留学生及びその家族、教職員	淡路島にある北淡震災記念公園で震災について学んだ。徳島県立阿波十郎兵衛屋敷で日本の伝統芸能文化を体験した。
2017年12月1日	立命館大学	BKC冬の国際交流企画「異文化フェスティバル」	立命館大学びわこ・くさつキャンパス	留学生、日本人学生、教職員、地域住民 約200名	餅つきや、サークル団体や留学生によるパフォーマンスを通じ日本人学生との相互理解を深めた。
2017年12月3日	独立行政法人日本学生支援機構	2017年兵庫国際交流会館国際交流フェスティバル	兵庫国際交流会館	兵庫国際交流会館入居者及び一般	外国人留学生の宿舎かつ「国際交流の拠点」として外国人留学生や地域住民を対象としたさまざまな国際交流事業を実施する兵庫国際交流会館の入居者が、会館での生活で芽生えたつながりを育て、入居者が今後も絆を深めていくことを目的に実施。入居するレジデント・アシスタントによる企画を含め、様々な交流の場を提供することにより入居者・地域の方々との間の交流を深め、会館での生活が実りあるものになるような催事とすることを目指した。
2017年12月4日	滋賀県留学生交流推進会議交流部会	滋賀県生活衛生営業指導センターによる和食作り(お雑煮)のレクチャー	立命館大学びわこ・くさつキャンパス	留学生、日本人学生	日本の食文化～お正月に食べる「お雑煮」にかかわるお話と日本の旅館の仕組み、和食文化に触れ、国籍を超えた交流ができた。
2018年1月12日	滋賀県茶業会議所 滋賀県農業経営課 立命館大学	おいしいお茶のいれ方教室	立命館大学びわこ・くさつキャンパス	本学に在籍する留学生10名	滋賀県の特産「近江のお茶」の歴史について学習したあと、日本茶インストラクターによるお茶の入れ方を実演。日本茶の魅力留学生の母国に伝えてもらう。
2018年1月13日	大津市国際親善協会	留学生と交流しよう！唐橋焼のマグカップ作り体験	唐橋焼窯元	一般、留学生	滋賀県大津の唐橋焼についての説明などを聞きながら、唐橋焼のマグカップを作る。留学生と交流しながらマグカップをつくる。
2018年1月20日	独立行政法人日本学生支援機構	兵庫国際交流会館交流研究委員会(国際理解ワークショップ)	兵庫国際交流会館	兵庫国際交流会館入居者及び一般	国際理解ワークショップとして、「Tourism」をテーマに兵庫国際交流会館に居住する留学生が口頭発表を行うことにより、それぞれの国についての理解を深め、また、参加者間の交流を促進する機会を提供することを目的に実施。
2018年2月11日	立命館大学	地域交流～新春餅つき大会	BKCインターナショナルハウス	留学生、日本人学生、教職員、地域住民 約90名	寮生と地域の方との交流機会を設け、お互いを知る事で国際寮と地域の方とのより良い関係や町づくりに繋げる。
毎週土曜日	草津市国際交流協会(KIFA)	草津市在住外国人等のための日本語教室	立命館大学びわこ・くさつキャンパス	留学生と草津市在住外国人	外国人を対象に日本で生活するうえ、欠かせない基本的なこと(買い物、病院等)について、レベル別に分けて日本語指導を行っている。
年8回	龍谷大学	English Evening	龍谷大学瀬田キャンパス	交換留学生・瀬田キャンパスの日本人学生	学生に多くの国際交流の機会を与えることを目的に、英会話を通じ、各々の国の状況や文化の違いや考え方の違いなどを語り合うことで、異文化に対する理解を深める機会ともなっている。
年2回(春・秋)	立命館大学	Welcome & Farewell Party	BKCインターナショナルハウス	留学生、日本人学生、教職員、約70名	新寮生の歓迎・寮生同士の交流の促進を図るために、毎年実施している。
通年	滋賀県(商工観光労働部)	シガインターナショナルハウス管理運営事業	滋賀県内	県内大学に通う留学生	留学生を対象に県有財産の貸し出しを行っている。
通年	滋賀県(商工観光労働部)	国際交流	滋賀県内	姉妹提携を結んでいる米国ミンガン州の留学生	姉妹提携を結んでいる米国ミンガン州にある15の州立大学の学生に向け日本語プログラム及び学生寮を提供している。
通年(3～4回/年)	大津市国際親善協会	ボランティアアクティビティ	大津市内社寺(坂本、日吉大社、石山寺等)	留学生	留学生や外国人に大津市内の社寺、観光地、その他に関わる文化などを英語で紹介し、留学生に大津の魅力を広める。
月1回(第2水曜日)	大津市国際親善協会	外国人無料個別相談室	大津市国際親善協会	留学生と大津市在住外国人	外国人が安心して日常生活を送るために、入管・在留資格・VISA・国際結婚・起業等に関する相談を行政書士が受け付け、問題に対してアドバイスをする。
通年	大津市国際親善協会	留学生大津探訪バスポートの発行	対象場所	留学生、大津市在住外国人	国際交流及び勉強を目的として来日されている外国人留学生に、大津を広く紹介し、国際交流や友好関係を深めるきっかけ作りになるよう提供する。
毎週1回	大津市国際親善協会	在住外国人等のための日本語教室	大津市国際親善協会、瀬田公民館、瀬田東公民館、堅田公民館	留学生、在住外国人	在住外国人、留学生等に日本語を学習する機会を設け、日本語通じてコミュニケーション能力を向上させ、地域社会の振興に寄与するきっかけを作る。
毎週木曜日	聖泉大学	日本語研究会	聖泉大学	留学生・日本人学生	日本の経済・文化・社会問題等についてディスカッションを行う。日本の四季に合わせて、名所旧跡を巡る。

# 留学生データ

## 県内大学、短期大学の留学生受入状況（平成29年5月1日）

### (1) 留学生数の推移

H1.5	H2.5	H3.5	H4.5	H5.5	H6.5	H7.5	H8.5	H9.5	H10.5	H11.5	H12.5
49	65	77	95	109	145	147	179	202	378	447	503
H13.5	H14.5	H15.5	H16.5	H17.5	H18.5	H19.5	H20.5	H21.5	H22.5	H23.5	H24.5
520	736	851	960	1,052	1,043	1,044	1,123	1,229	1,280	1,209	1,291
H25.5	H26.5	H27.5	H28.5	H29.5							
1,242	1,256	842	908	1,062							



### (2) 在籍身分別留学生数

大学	学部・短大				大学院				合計	※参考 前年度 実績数
	国費	私費	非正規 課程	小計	国費	私費	非正規 課程	小計		
滋賀医科大学	0	0	0	0	7	21	0	28	28	28
滋賀県立大学	0	14	31	45	2	23	7	32	77	75
成安造形大学	0	21	1	22	0	0	0	0	22	17
聖泉大学	0	60	0	60	0	0	0	0	60	56
長浜バイオ大学	0	13	0	13	0	8	0	8	21	19
びわこ成蹊スポーツ大学	0	2	3	5	0	1	0	1	6	2
立命館大学	0	376	8	384	55	199	3	257	641	493
龍谷大学	0	12	7	19	0	23	3	26	45	50
びわこ学院大学 びわこ学院大学短大部	0	1	0	1	0	0	0	0	1	2
滋賀文教短期大学	0	4	0	4	0	0	0	0	4	3
滋賀短期大学	0	1	0	1	0	0	0	0	1	2
滋賀大学	1	62	32	95	5	53	3	61	156	161
合計	1	566	82	649	69	328	16	413	1,062	908

# 留学生データ

## (3) 出身国（地域）別留学生数

国名	学部・短大				大学院				合計	※参考 前年度 実績数
	国費	私費	非正規 課程	小計	国費	私費	非正規 課程	小計		
中華人民共和国		434	26	460	14	183	10	207	667	543
大韓民国		54	8	62	1	8	1	10	72	59
アメリカ合衆国		2	10	12		1		1	13	11
(台湾)		15	11	26		6	1	7	33	25
アフガニスタン・イスラム国				0		12		12	12	13
イタリア共和国			2	2		2		2	4	3
インド				0	2	2		4	4	11
インドネシア共和国		9		9	8	18		26	35	35
ウガンダ共和国		1		1				0	1	0
ウズベキスタン共和国				0		7		7	7	6
エジプト・アラブ共和国				0		1		1	1	2
エストニア共和国		1		1				0	1	1
エチオピア連邦民主共和国				0	1			1	1	2
オーストラリア連邦			2	2				0	2	0
オランダ王国			4	4				0	4	4
カナダ				0				0	0	1
グレートブリテンおよび北部 アイルランド連合王国(英国)				0				0	0	1
キルギス共和国				0		7		7	7	3
ケニア共和国				0		5		5	5	4
コートジボワール共和国				0		2		2	2	2
コロンビア共和国		1		1				0	1	1
サウジアラビア王国				0		3		3	3	2
スウェーデン王国				0			1	1	1	0
スーダン共和国				0				0	0	1
スペイン			2	2				0	2	3
スリランカ民主社会主義共和国				0				0	0	1
セネガル共和国		1		1				0	1	0
タイ王国		7	4	11	14	3		17	28	31
タジキスタン共和国				0				0	0	0
タンザニア連合共和国				0		1		1	1	2
ドイツ連邦共和国			5	5		1	2	3	8	7
トルコ共和国				0		1		1	1	0
ナイジェリア連邦共和国				0		2		2	2	0
バーレーン王国				0		1		1	1	0
パキスタン・イスラム共和国				0		1		1	1	1
ハンガリー共和国				0	2			2	2	2
Bangladesh 人民共和国		1		1	6	15		21	22	16
フィリピン共和国				0		1		1	1	1
フィンランド共和国				0			1	1	1	0
ブータン王国		1		1				0	1	0
ブラジル連邦共和国				0		1		1	1	1
フランス共和国			1	1		1		1	2	4
ベトナム社会主義共和国		15	2	17	12	14		26	43	43
ペルー共和国				0				0	0	1
マレーシア		23	1	24	6	10		16	40	37
ミャンマー連邦共和国				0		10		10	10	9
メキシコ合衆国			1	1	2	2		4	5	6
モロッコ王国				0		2		2	2	1
モンゴル国	1	1	3	5	1	4		5	10	8
ルーマニア				0				0	0	1
ロシア				0		1		1	1	1
南アフリカ共和国				0				0	0	1
合計	1	566	82	649	69	328	16	413	1,062	908

※ 上記数字は、在留資格「留学」を有する留学生のみの人数です。

※ 非正規課程とは、研究生・科目等履修生等を示します。

<b>編集発行</b>	<b>滋賀県留学生交流推進会議</b> 〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67 龍谷大学 グローバル教育推進センター
<b>発行月</b>	TEL. 075-645-7898 FAX. 075-645-2020 2018年 3月